

校長室より

第29号

「天空高き」



平成23年11月15日

秋の夜長は心を澄ませて！

11月には紅葉の美しい時期ですが、朝晩は急激に気温が下がってきます。毎日、日の出が約1分遅れ、日の入りが1分早くなります。ということは毎日2分、昼が短くなり夜の時間が長くなります。1ヶ月で約1時間、昼の時間が短くなり、夜の時間が長くなります。読書の秋たる所以がここにあると思っています。

読書の秋でもあると同時に、皆さんにとっては落ち着いて、じっくりと学習に取り組める時期でもあります。

進学でも就職でも基礎学力は必要です。学力＝（集中力）×（時間）で表されると思います。どれだけ継続して集中して取り組めるかです。

集中力は日頃からの授業やクラブ活動への取り組む姿勢で培われます。何事に対しても真面目に一生懸命に取り組む姿勢の中で育まれます。

センター試験に臨む受験生にとりましては、これからが追い込みの時期です。健康に留意して万全の態勢でその日を迎えられるよう期待します。

センター試験に臨む諸君へ「睡眠時間6時間と自学6時間を確保することが大切！」

11月には紅葉の美しい時期ですが、朝晩は急激に気温が下がってきます。毎日、日の出が約1分遅れ、日の入りが1分早くなります。ということは毎日2分、昼が短くなり夜の時間が長くなります。1ヶ月で約1時間、昼の時間が短くなり、夜の時間が長くなります。読書の秋たる所以がここにあると思っています。

読書の秋でもあると同時に、皆さんにとっては落ち着いて、じっくりと学習に取り組める時期でもあります。

進学でも就職でも基礎学力は必要です。学力＝（集中力）×（時間）で表されると思います。どれだけ継続して集中して取り組むかです。

集中力は、日頃の授業やクラブ活動への取り組む姿勢から培われます。何事に対しても、真面目に一生懸命に取り組む姿勢の中で育まれます。

センター試験に臨む受験生にとっては、これからが追い込みの時期です。健康に留意して、万全の態勢でその日が迎えられるよう気をつけて下さい。

就職を希望する諸君へ！

毎年、就職が難しくなっています。山口県内では就職希望者に対して求人数が下回っています。8月の有効求人倍率（季節調整値）は、0.74倍です。100人の就職希望者に対して74人は就職できますが、26人は就職を希望してもできないということです。しかも自分の希望する職種はなかなか選べません。

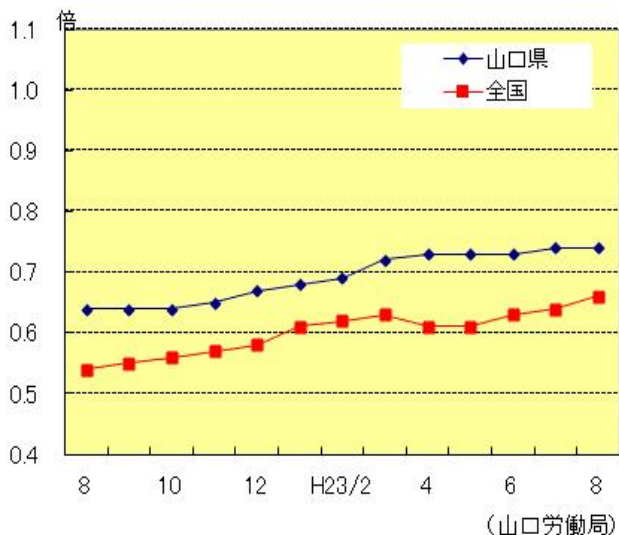
このような厳しい状況の中でも、希望する職種に就職することの出来る生徒がいます。そのような生徒はいったい高校時代をどのように過ごしたのでしょうか。普通科の目標は「規律ある生活、充実した授業」ですが、それを実践した生徒です。

具体的に説明します。規律ある生活とは①自分で朝起きられる②明るく元気な挨拶ができる③遅刻、欠席が少ない④正しく制服を着こなしている⑤清掃活動やボランティア活動に意欲的に取り組んでいる⑥毎日家の手伝いをしている⑦規則正しい食事を取っている

充実した授業とは①授業態度が真面目である②宿題や忘れ物がない③クラブ活動に積極的に取り組んでいる④家庭学習が定着している

そのような生徒とは、当たり前前を当たり前前に毎日行っている生徒です。

有効求人倍率(季節調整値)



目標を持てば必ず失敗する。挫折も経験する。しかしもう一度やってみようかなと思った瞬間に、挫折も傷も失敗も、経験に変わる。一步踏み出せ。
前バレーボール全日本女子監督 柳本晶一

科学の甲子園！山口県予選会で宇部高校と同点1位

『「科学の甲子園全国大会」に出場する山口県の代表チームを選考するとともに、山口県内の科学好きの生徒を対象に、科学に関する知識・技能を競い合う場を提供することで、理数系分野に対する興味関心を喚起し、学習意欲の一層の向上を図る』という目的で11月13日(日)山口セミナーパークで、山口県と教育委員会主催で初めて開催されました。



各チームとも6人の構成で、全員で知恵を出し合い、協力して、「筆記競技」(120分)、「実験競技」(120分)、「総合競技(ものづくり)」(50分)の3種の競技において、課題解決に取り組む団体戦です。

本校からはS1とS2の2チームが出場し、10校15チームで得点を争いました。

結果は見事にS2チームが第1位に輝きましたが、宇部高と同点1位ということで、12月10日に全国大会の切符を賭けての決戦に

なりました。全国大会は、平成24年(2012年)3月24日(土)～26日(月)兵庫県西宮市(兵庫県立総合体育館)にて開催されます。相手校はスーパーサイエンスハイスクール指定校ですが、6年制のプライドを賭けて正々堂々と闘って来てもらいたいと思います。

S1 修学旅行アンケートを読んで

11月初旬にS1の皆さんは、オーストラリア修学旅行から元気に帰ってきました。そのアンケートに目を通しました。移動時間が長く、身動きが制限させる狭いシートで苦労したようですが、本当に楽しい、感動的な修学旅行だったようですね。旅行の良し悪しは、まず、天候や食事、宿泊ホテル等に左右されますが、天気にも恵まれ、食事もおおむね良く、ホテルも快適だったようですね。修学旅行が皆さんの一生の思い出として残るのは、みんなが同じ所で寝食を共にし、行動するからでしょうね。

オーストラリアの素晴らしさの1つには、その独特の自然の雄大さと固有の動物種ですが、世界遺産に登録されているキュランダを鉄道から見た車窓からの景観やグリーン島の海の透明感、動物園で出会ったコアラやワニ、ヘビ等は一生君たちの脳裏に焼き付いているでしょう。

アボリジニ文化体験や学校交流での生徒との触れ合いは、これからの学校生活をより豊かなものにしてくれると思います。

初めての海外旅行という人もいましたが、海外で出会った人たちや自然、動物との触れ合いは皆さんの感性をより豊かなものにしてくれます。まさに、「百聞は一見に如かず」です。多くのみなさんは、オーストラリア修学旅行での体験を今まで自分が体験してきたこと（日本での生活）と比較していましたが、これが大切な異文化体験の第一歩です。国際社会で活躍するためには、北林先輩もおっしゃっていましたが、まず語学（英語力）と日本の歴史・文化を学ぶことです。これからの学校生活の中でしっかり身に付けていって下さい。

中学共通テスト（日本の地理）にチャレンジ！

昭和52年(1977年)に実施された中学共通テストで、日本の地理です。第2代山本真喜雄校長先生が作成されました。当時全校生徒、中1～中3、147名中、最高点、中3—91点。中2—93点、中1—88点。平均点、中3—49点、中2—50点、中1—43点でした。皆さんはどうでしたか。もし、答えが必要なら、校長室にどうぞ。

